

▽ 中野 正剛 教授 NAKANO, Seigo



学 科： 法律学科

担当科目： 刑法総論、刑事訴訟法、刑法各論、裁判法、少年法

学歴等のプロフィール

①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

②博士(法学)

③日本刑法学会、刑法読書会、刑事判例研究会(東京大学)、日本犯罪心理学会、日本犯罪社会学会、日本矯正医学会、少年法研究会、そのほか沖縄法政学会理事

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1 教育活動・方法の実践例		
専門科目(刑法・刑事訴訟法) 2 から 4 年生	2005 年から毎年	●那覇地裁で実際の裁判を傍聴しながら刑事手続きの流れを学生に解説し、刑事法の理解を深めさせている
専門演習、基礎演習 2 から 4 年生	2005 年から隔年	●大学の模擬裁判法廷で公開模擬裁判をさせている。また、近隣の少年院、刑務所に出かけて矯正実務の現状も学ばせている。
論文審査(大学院)件数	2005 年度 以降 2014 年度	修士論文審査 1 件 以降各年度 1 件ずつ審査を行っている
2 作成した教科書		
刑法通論(単著)伊藤書店	1998 年	●同書は、法学部専門科目刑法総論・刑法各論向けの教科書として作成され、現在に至るまで2版を重ねている。
刑法総論講義(単著)成文堂	2012 年	* 刑法の基本原則から叙述し、私見を交えながら、刑法の解釈学を展開している。
	2000 年	●おもに初学者向けの教科書として作成された。

現代基礎法学(共著)		* 私の担当部分は、刑法・刑事訴訟法・少年法の学習で必要不可欠な「罪刑法定主義」、「侵害原理・パターンリズム・モラリズム」について基本的な説明を加えている。
刑事訴訟法講義録(単著)	2005年	● 専門科目・刑事訴訟法の教科書として作成され現在に至る。刑事訴訟法典全体を網羅しており、例題に加え参考論文などを紹介して受講生の学習をバックアップする内容になっている。
3 学生支援活動 サークル・部活動	2005年度以降 2006年度～ 2008年度	法学研究会顧問 キッキングジャムセレクターズ(音楽クラブ)顧問
	2009年度 2009年度以降 2011年度以降	国際研究クラブ顧問 ビーチバレー部顧問 男子バレーボール部顧問
4 教育改善活動 財団法人日本高等教育評価 機構主催説明会への出席	2010年	大学院等委員会委員長として、翌年度本学が大学認証評価を受審するので、審査報告書作成のための説明会に、学部等委員会委員長、広報企画課長、経営政策室職員らと参加した。その結果、大学の認証評価の実情、大学への予算配分の実情などを子細に見聞することができた。今後の大学認証評価が円滑に進むよう検討する。

研究業績等

【主要論文及び主要著書】

【口頭報告】

日本刑法学会第93回大会

研究報告「オルトランの未遂犯論」(専修大学・2015年5月23日)

日本刑法学会九州部会

第116回例会・個人報告「オルトランの未遂犯論の基本構造について」(九州大学・2014年12月13日)

日本刑法学会九州部会

第113回例会・個人報告「応報刑のロジックと死刑存廃論」(琉球大学・2013年6月28日)

【単著】

『未遂犯論の基礎』成文堂 2014年

An Essay about the Development of Japanese Early Modern Theories on CRIMINAL ATTEMPTS at the Dawn of Modernization and Civilization in Meiji era (1868-1912),UMI-ProQuest(Michigan,USA),2002

『刑法通論』伊藤書店 1998年、ほか

【共編著】

浅野裕司ほか編著『現代基礎法学』八千代出版 2000年

【共訳】

日本弁護士連合会第34回人権擁護大会シンポジウム第三分科会実行委員会編『子どもの人権オンブズマン』日本弁護士連合会1991年

【論文】

「オルトランの未遂犯論」刑法雑誌 55 卷 2 号

「日本未遂論の展開」森下忠・香川達夫・斎藤誠二編『日本刑事法の理論と展望』（佐藤司先生古希記念論集上巻）2002年、ほか

「刑法上の責任とは被告人を処罰≪非難≫することか処遇≪支援≫することか？—少年の場合」（沖縄法学 42号）2013年

「1号裁判員裁判（沖縄）を素材に—中止未遂の要件の解釈と裁判員の評議を考える」（沖縄法学 39号）2010年

「罪刑法定主義」（沖縄法学論叢 2号）2009年

「偶然防衛」（沖縄法政研究 11号、12号）2008、2009年

研究分野

刑事法学：未遂犯論、刑法理論史研究、現代刑事司法改革の推移と課題

【Eメール・ホームページ等】

seigo@okiu.ac.jp

平成 30 年 4 月 1 日現在